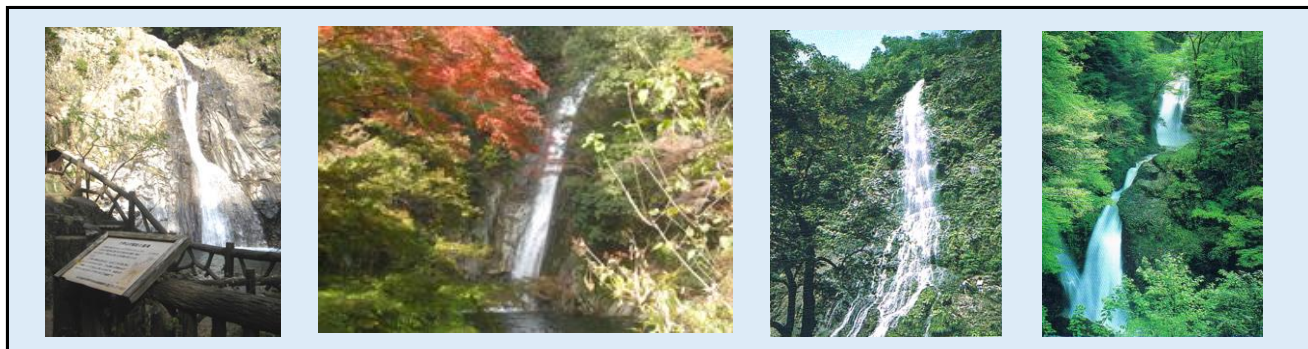


# ひょうごの主な滝

神戸・兵庫の郷土史Web研究館 資料 dt08fal.pdf



## 神戸

地域	滝の名称	所在地	高さ	解説
神戸	布引の滝	神戸市中央区葺合町布引山	雄滝43m 雌滝14m	日本の三大神滝の一つ。上流から雄滝・夫婦滝・鼓ヶ滝・雌滝の4滝がある。古くから詩歌・物語に多く伝えられている。都心から手軽な場所にある幽すいな自然境。
	鼓ヶ滝	神戸市北区有馬町滝本	11m	有馬四十八滝の一つで、六甲から流れ出た谷川が滝となったもの。水音の山々への反響が鼓の音に似ていることでこの名が付いた。

## 阪神

地域	滝の名称	所在地	高さ	解説
阪神	高座の滝	芦屋市山芦屋町	10m	高さ10メートルの夫婦滝。小さいが滝は美しく周囲はこんもりと樹木に覆われ、静寂の中に滝の水音が冴える。滝のそばにアルピニスト藤木九三氏のレリーフがある。ここは、ロックガーデンの登山口でもある。
	最明寺滝	宝塚市切畑字長尾山	約10m	巨岩を伝う滝、横には岩をうがった祠があり、最明寺川の溪流にそって歩く山道は四季それぞれの魅力があり特に桜に新緑、また紅葉はひとしお訪れる人の心を引きつける。
	ニン滝	三田市上青野	8m	青野川の上流に位置し、小鳥のさえずりと涼を求めて、ハイキングが楽しめる最高のコース。尼僧が修行の場としたところからこの名がついた。
	猪名川不動の滝	猪名川町鎌倉	10m	修業の場であったところで、現在でもここで各種の行事が行われている。周辺は県立自然公園の特別地域に指定され、自然が豊かで飯盒炊さん、キャンプ等で賑わう。

## 東播磨

地域	滝の名称	所在地	高さ	解説
東播磨	鬮竜灘	加東市滝野町上滝野		川一面が石英粗面岩で覆われ、奇岩に飛び散る滝しぶきと鮎の名所として知られている。
	二重が滝 竜が滝	多可町八千代町大屋	20m 10m	笠形山から流出する水は、五流の滝となって野間川に注いでいる。上から竜が滝、二重が滝、勝負滝、蛇腹滝、赤滝となり、落差の大きい瀑布となる。まわりの岩に馬の蹄、重箱、馬の寝そべった跡がある。坂上田村麻呂がこの地に来た伝説もある。

## 西播磨

地域	滝の名称	所在地	高さ	解説
西播磨	亀ヶ壺	姫路市夢前町		河原(こうはら)谷の上流にある大滝の中段にできている甌穴。ハイキングの目的地となり、山を越して鶴居へ出ることができる。
	鹿が壺	姫路市安富町関字坪ヶ谷		石英粗面岩の岩盤に浸蝕作用でできた甌穴群。大小10箇所、階段状の急斜面に連続している。入口付近はキャンプ場になっている。
	扁妙(へんみょう)の滝	神河町神崎町根宇野	65m	笠形山、千ヶ峰県立自然公園根宇谷登山道の途中にあり落差65mの見事な滝がハイカーの心をなごませてくれる。又、下流300mのところには落差16mの下滝もある。
	黒岩の滝	神河町大河内町上小田	20m	峰山の中腹小田原川の上流に懸かる男性的な名瀑、音響山にこだまし、壮観、爽涼味を満喫することができる。滝を眺めながらの飯盒炊さんは格別である。
	七種(なぐさ)の滝	福崎町田口	54.7m	七種の滝は雌滝、雄滝以下48滝があり県下八勝、県下観光百選に選ばれている。このうち、雌・雄の滝は高さ54.7m、幅3m、四十八変化と呼ばれる風情を見せる。
	天門山飛竜の滝	佐用町上月町櫛田	30m	飛竜の滝は、遠く近世の初めごろから知られた名瀑で、昔は、ここの竜神に祈ると雨乞いに霊験があるとされて、干ばつの年には、降雨を祈る近郷の人々が団体を組んでよく参拝をしたものである。
	比地の滝	宍粟市山崎町上比地	7m	上比地の山麓にあって99谷の水を受けるといわれ、古来不動明王を祀り、陰暦7月7日には、うなぎがこの滝を登ると伝えられている。
	野原の滝	宍粟市山崎町母栖	33m	鎌倉時代戦いに敗れた平維盛の妻とその家来が逃れ住んだという伝説の里、母栖にあり、不動明王が祀られ、人々の熱心な信仰を集めている。
	原不動滝	宍粟市波賀町原	約88m	国有林の原生林の中にあり、四季を通じて楽しめる。展望台、遊歩道あり、水ノ山後山那岐山国定公園の最大の見所でもあり、園地、サイクリングセンター、同コース等、波賀町観光の拠点である。
	三室滝	宍粟市千種町河内	15.1m	水量が豊かで、悠久の響をたてて流れ落ちている。滝壺へ流れ込んだ水は大きく跳ね上がり、水量によっては2メートル以上も飛び上がる。滝を囲む森林も千古不斧の大木に覆われ、まさに深山幽谷の趣が溢れている。
黒土滝	宍粟市千種町黒土	15m	大きな木が少ないため、明るい感じの滝である。滝へ注いでいる水は、深い山々から流れ出たものであり水量は豊かである。滝の横には滝見堂も建てられていて、訪れる人の格好の休憩所となっている。	

# 但馬

地域	滝の名称	所在地	高さ	解 説
但馬	小沼の滝	豊岡市滝		豊岡市唯一の滝であるが規模は小さい。願かけ、水ごり、夏の涼みに最適である。
	段の白滝	豊岡市竹野町段	滝45m 河床50m	滝の長さ45m、可床の長さ50m、あわせて95mで、双方巾2mから3m、河床は水成岩質の一枚岩となっている。巾のせまい四段からなる糸状の滝で、滝壺から河床岩の切れ目までが他に類のない眺めである。
	阿瀬四十八滝	豊岡市日高町羽尻	30m	阿瀬溪谷に散在する多くの滝の総称。主な滝は、源太夫の滝（落差30m）不動の滝（20m）ますらおの滝などがある。
	十戸（じゅうご）の滝	豊岡市日高町十戸	8m	県道を走る車窓から見るることができる滝の上流及び下流では、虹ます釣り場が開設され（有料）年中多くの太公望で賑わっている。
	八反の滝	豊岡市日高町名色	24m	別名「八端の滝（同じ読み方）」とも言う。これは、滝の高さ（落差）が布8反分あることからこの名が付いたという説がある。神鍋山の噴火によって出来た滝。
	一ツ滝・二ツ滝	豊岡市日高町万劫	22m	円山川の支流、稲葉川の源流近くにあるこの滝は、国立公園特別保護区域のそば。美しい自然に囲まれた名瀑で遊歩道も整備されている。
	白糸の滝	豊岡市出石町歯袴狭	約20m	糸を垂らしたような、しとやかな滝。谷川のせせらぎを聞きながらのキャンプは最高。
	清滝の滝	豊岡市但東町西谷	20m	昔、大竜が妙見宮の使いとして、この滝で行をとり、身を清め風を起こし、水を巻き雲を呼んで飛竜したと伝えられる。春の桜、秋の紅葉が美しくハイキングに好適。
	猿尾滝	香美町村岡町日影	60m	高さ60mの大岩壁から落ちる瀑布が自然林と調和し、四季折々その姿を変え、訪れる人を楽しませてくれる。その昔藩主山名公が流れを利用して素麺流しを楽しんだという由緒ある滝。
	瀬川滝	香美町村岡町瀬川	55m	瀬川稲荷より溪谷を1kmさかのぼったところにある。水量豊かで、悠久の響きをたてて流れ落ちている。6月中旬シャクナゲが両側に咲き乱れる。
	小城四十八滝	香美町村岡町小城		射添溪谷に散在する多くの滝の総称。
	吉（よし）滝	香美町美方町鍛冶屋	28m	滝水が笥のように、空中を岩壁から15m前方に落下し、滝水の裏に吉滝神社やこもり堂があり、滝の裏からも見えるところから裏見の滝とも呼ばれる。なお主滝の左右に金明水（5m）銀明水（8m）が対比的に落下している。
	荒滝	香美町美方町小長辿	30m	落差30m余り、豪快に水しぶきをあげ水音高く荒々しくかかる滝である。遊歩道も整備されている。
	要（かなめ）の滝	香美町美方町久須部	10m	水が滝口から扇のように末広がりに落ちるところから、この名が付けられたといわれる。右手には二つの滝があり二段滝と呼ばれる。アマゴ釣りのポイントでもある。遊歩道整備。
	八反滝	香美町美方町新屋字中サバ	約50m	水源を鉢伏山に発し滝の高さ約50mの清らかな滝である。はじめは階段状に落下し、32m付近よりほぼ垂直に直立した岩壁を落下している。秋には水量も多く紅葉と清流とがマッチした眺めは絶景である。

地域	滝の名称	所在地	高さ	解説
但馬	霧ヶ滝・赤滝	新温泉町温泉町岸田	60m	水流が20m落下したところで岩盤に当り40m落ちる間に霧状となり滝壺が無い「霧ヶ滝」、谷を変えて上流に四方を直下100mに及び岩壁に囲まれ人を寄せつけない「赤滝」がある。岩層規模、原生林等と共に見事である。
	シワガラの滝	新温泉町温泉町海上	15m	滝自体は小規模であるが、岩壁に洞窟が形成されている様は自然の偉業であり神秘的である。付近に「桂の滝」「五滝」「布滝」などが連続している。
	七龍の滝	新温泉町浜坂町諸寄	20m	大柄川の源流にあり、年間枯れることがない。
	大滝（創造の森）	新温泉町浜坂町久斗山	25m	浜坂町と村岡町の町境。流れ落ちる滝の音を聞きながら森林浴、バードウォッチングなど自然と触れ合う場として最高。
	妙見大滝	養父市八鹿町石原	20m	石原溪谷の奥に位置し、他にも大小の滝をしたがえる。
	不動滝	養父市大屋町若杉	15m	巨岩の間から豊富な水量が一気に滝壺に流れ込む。周囲はうっそうとした樹木に覆われ昼なお暗く、真夏でも冷気が漂う。
	天滝	養父市大屋町筏	98m	まるで天から落ちてくるごとく水勢すさまじい瀑布は、はげしく岩を打ち、さらに数10条の滝となって落ちるさまは、まさに雄大である。また、滝をとりまく周囲は、見事な原生林と奇岩絶壁に包まれている。
	布滝	養父市関宮町福定	50m	氷ノ山に源を発する溪流は、原生林、奇岩をぬって、幾つかの滝をつくっている。布滝は白布をたらしめたように岩肌をすべり落ち、清楚な姿は四季それぞれの情緒に満ちて見事な自然美を満喫でき、登山者の心をなごませる。
	不動滝	養父市関宮町福定	30m	福定から入る。あずき転がしコースを溪谷に沿って登ると、不動滝など大小さまざまな滝があり、うっそうとした樹間より見る情景は得も言われぬ風情があり、登山者の心を惹くものがある。
	とての三滝・不動の滝・らかなの滝	朝来市和田山町竹ノ内	15m	お滝さんとも呼ばれ神秘的な荘厳さが漂っている。殊に切り立った岩壁の露出はすばらしく、このあたりの岩質を知るのに非常によい。
	双竜の滝	朝来市山東町	10m	2筋の流れは2頭の竜が昇る姿に見える。
	白綾の滝 乙女の滝	朝来市生野町白口	25m 6m	銀山発祥の地と言われる山峡に流れ落ちる滝が絹綾に見えるからその名があり、途中にはロマンを秘めた乙女の滝もある。
	魚が滝	朝来市生野町	5m	二筋に流れ落ちる小滝に挟まれた中央の岩が魚の形に似て、滝昇りをしているように見える。付近にキャンプ施設、自然休養村施設がある。
	黒滝	朝来市朝来町多々良木	50m	行者参道を登ると30分。眼前には1,000畳敷の絶壁が迫り、約50mの大岩壁の上から流れ落ちる水音は遠くまで響き、訪れる人々の心を清める。
	不動の滝	朝来市朝来町佐中	8m	ひらべを釣る姿の見える佐中溪谷を左右に眺めながら坂を登ること5 km。魚止の滝・観音滝・亀ヶ滝、竜ヶ滝、不動の滝の5つが段々のように折り重なっている。特に秋の紅葉が素晴らしい。

## 丹波

地域	滝の名称	所在地	高さ	解説
丹波	独鈷（どっこ）の滝	丹波市氷上町香良	約20m	この山は古生層のチャートから成り、断層が多く露岩や崖が見事で、夏は納涼、キャンプ場になる。洞窟と滝と溪流と美林を備えたこの谷は県観光百選に選定されている。近くの岩滝寺は尼寺で滝と共に訪れる人で賑わう。
	浄丸の滝	丹波市青垣町稲土	9m	粟鹿山登山道路を200m登ると、雨乞いの霊神としてあがめられる浄丸神社があり、この滝はその御手洗い。幅7m、高さ9m、豊かな水勢は神域にとどろき、訪れる人々を幽境に誘う。
	筱見（ささみ）四十八滝	篠山市篠山町上筱見	20m	手洗い滝、弁天の滝、肩の滝、長滝、洒落滝、大滝、二之滝、一之滝と清流が山肌に沿って流れ、絶好のキャンプ地でもある。
	俱利伽羅不動の滝	篠山市西紀町栗栖	6m	この滝は俱利伽羅明王と称し多くの尊信を受けている不動尊を祀る滝であり、往昔は氷上郡（丹波市）へ下る道は無く、ここが行き詰まりの所であって、樹木は屋尚暗く生い茂っており如何にも神秘的なところであった。

## 淡路

地域	滝の名称	所在地	高さ	解説
淡路	鮎屋の滝	洲本市鮎屋	14.5m	淡路随一の滝で行者堂があり、桜や紅葉が滝壺に映える頃のハイキング散策に好適。上流には鮎屋川ダムもある。
	不動の滝	淡路市北淡町浅野	15m	万葉時代に歌人が盛んに訪れた浅野公園の谷あいには有り、かえでの巨木が溪谷を覆っているため「紅葉が滝」の異名を持っている。
	夫婦滝	淡路市一宮町草香	15m	草深い山中にあるこの滝には、不動明王を祀る御堂があり霊験あらたかな守り神。滝が二つに分かれているところから夫婦滝と呼ばれているが、別名不動の滝ともいう。

【 URL 】 <http://kdskenkyu.saloon.jp/pdf/dt08fal.pdf>  
<http://kdskenkyu.saloon.jp/kdsdata.htm>